

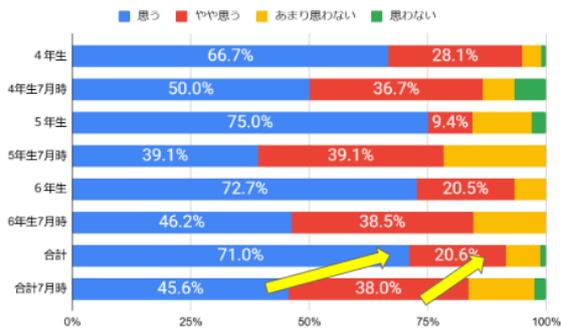
令和7年3月12日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

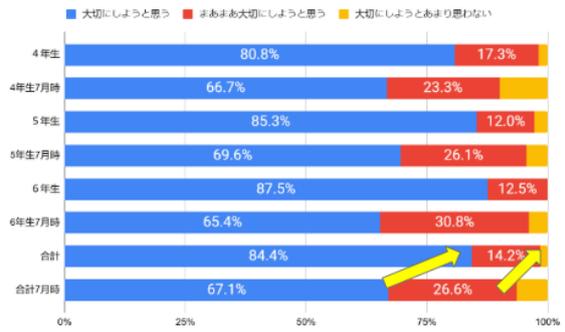
(学校名) 春日井市立中央台小学校
校長 辻本 祐子

事業テーマ	自己肯定感を高め力強く生きていく「いちょうっ子」の育成	
取組の目的	『自己肯定感を高め力強く生きていく「いちょうっ子」の育成』のテーマのもと、学習指導の改善・日頃の人間関係形成の支援の改善・保護者や地域を含めた、子どもたちを支える環境づくりの見直しを進め、課題の解決につなげる。	
区分 (○印を付ける)	新規事業・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 (総事業年数 年間、3年目)	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容	ICT活用を含めた自己肯定感を高める授業づくりについては、講師先生を招いた公開授業研究会を通し、市内外の先生方に公開することで、個別最適な学び、協働的な学びを実現する授業実践力の向上に取り組んだ。	
事業名	事業内容	実施時期
1 「できた」「わかった」をより感じるができる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高める授業の在り方の研究 ICT活用を含めた、現職教育の充実 信州大学・佐藤和紀氏による訪問指導 縦割り班活動の見直しと改善 P T Aや地域の方との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 通年 6月・10月・2月 通年
2 一人ひとりが輝くことができる行事づくり	<ul style="list-style-type: none"> ドリームマップ（6年生）の実施 Q Uテストの実施と検討 ポジティブ行動支援、ソーシャルスキル 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 1月 6月・7月
3 子どもたちを支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> トレーニング研修 学校保健委員会での講演 P T Aセミナーでの啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> 6月・1月 10月 10月
<p>取組の成果</p> <p>自己肯定感に関する意識調査(7月・11月 対象4～6年生)では、 「自分は誰かの役に立っている」…「思う」45.6%(7月)→71.0%(11月) 「自分の体や心(気持ち)を大切にしている」…「大切にしている」67.1%(7月)→84.4%(11月) という結果に表れているように、自己肯定感の高まりが認められた。また、「自分のことが大切、やや大切」と思う児童がどの学年でも上昇し、他者と同じように、自分のことも大切に思えるように変容があった。</p>		

「自分は誰かの役に立っていると思いますか」
(R6.7月と11月のアンケート比較)



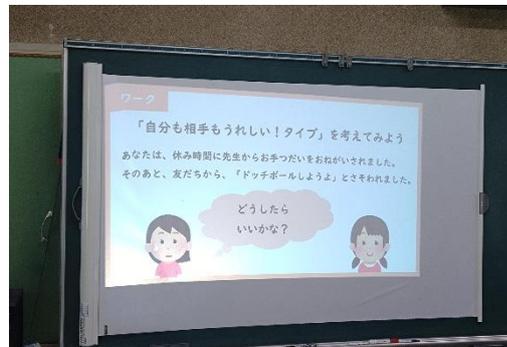
「自分の体や心(気持ち)を大切にしていますか」
(R6.7月と11月のアンケート比較)



① 「できた」「わかった」をより感じることができる授業づくり
佐藤先生によるご指導



小関先生・杉山先生による SST 授業



② 一人ひとりが輝くことができる行事づくり

地域の方やボランティアの方との交流

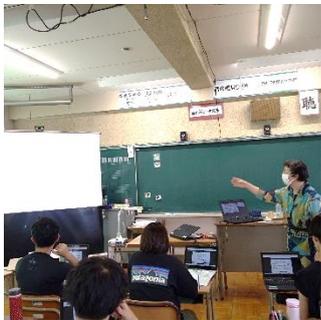


ドリームマップの実施



③ 子どもたちを支える環境づくり

Q-U 活用研修



助産師さんによる命の授業



課題

前向きな取組で児童の自己肯定感の向上を目指すPBS（ポジティブ行動支援）については、今年度受けた研修を基に、次年度はさらに取組を進めていく必要がある。教師自身が提案していくのみではなく、委員会活動などを通し、児童からの意見を募り、実践をしていく必要がある。ソーシャルスキルトレーニングの習慣化も含め、集団としての目標達成に向けた前進ができるよう取り組んでいきたい。